

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立長吉出戸学校

令和 7 年 4 月

大阪市長 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 様々な取り組みにより、不登校や遅刻をする児童が減少している。ただし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が目標の 90%に達していないことは、今後の課題である。
- 学力については、昨年度に比べて、結果がやや低いので、学力向上の取り組みを継続して進めていくことが課題である。
- 体力については、偏りはあるが良い結果が出ている。今後も体力向上の取り組みを継続していくことが大切である。
- 児童をしっかりと教育していくためには、児童について教職員全員で情報共有し、教職員同士で連携して取り組めるようにしていく必要がある。

中期目標

学ぶことに喜びを持ち、心豊かな、たくましい子どもを育てる

【安全・安心な教育の推進】

心豊かな子どもを育てる

- 互いを思いやる子どもを育てることにより、「楽しい学校づくり」をする。
学校アンケートの項目において、児童対象「学校に行くのが楽しいですか」、
保護者対象「お子さんは、学校に行くのを楽しみにしていますか」で肯定的な回答が 85%以上となるようにする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基礎・基本の定着を図り、達成感を味わえる子どもを育てる。

- 国語科・算数科の理解力を高める。
今後の「全国学力・学習状況調査」や「大阪市学力経年調査」の平均正答率や無解答率について、全国や大阪市の平均との差を縮める。（令和 3 年度との比較）

健康な体をすすんでつくる子どもを育てる。

- 体育の学習を工夫して実施し、運動能力を高める。
今後の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、全国や大阪市の平均を上回る種目数を増やすとともに全国や大阪市の体力合計点の平均を上回るようにする。（令和 3 年度との比較）

【学びを支える教育環境の充実】

I C Tの教育環境を充実させる。

○学習者用端末を積極的に使わせる。

学校での学習活動や家庭学習において、学習者用端末を使った活動を工夫して積極的に使わせ、活動回数を増やしていく。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を91%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を39%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・ 小学校経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等I C T活用が適さない日数を除く〕
- ・ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を74%以上にする。

【その他】

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立長吉出戸小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を91%以上にする。 ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○ 豊かな心を育む体験的な学習活動を積極的に取り入れる。	
指標 ・ 地域と連携し、特性を生かした体験的な活動に系統立てて取り組み、各学年、年に2回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○ 違いを認め合い、互いの立場や気持ちを考え合えるような集団を育成する。	
指標 ・ 人権教育、特別支援教育に関する研修を年1回以上実施し、校内外の人権教育実践交流会を年1回ずつ実施する。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○ 日常的に情報交換し、児童理解を深め、取り組みを検討する。	
指標 ・ 学年打ち合わせなどで日常的に情報交換を行うとともに、学期に1回事例交流会を開き、情報や対応方法を共有する。	
取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○ 不登校・遅刻の解消に向けて、児童の実態を的確に把握し、適切な対応につなげていく。	
指標 ・ 毎月スクリーニング会議を開き、不登校・遅刻の多い児童を中心に情報を共有する。また、外部機関とも連携する。	
取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ○ 異学年交流を活性化する学習活動を積極的に取り入れる。	
指標 ・ 縦割り班活動での交流を深め、協力しお互いの良さを認め合う取り組みを各学期に3回以上実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立長吉出戸小学校令和7年度運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を39%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 ○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。 ○ 小学校経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○ 主体的・対話的で深い学びを実現するため、互いに意見・考えを出し合い協働して考えを深めたり広げたりする学習場面を設定する。 指標 ・ 週に5回、ペアやグループトーク、全体交流など友達との間で話し合う活動をする時間を設ける。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○ 国語科を中心に読解力を育成するための取り組みを行う。 指標 ・ 週に2回、読み取りプリントに取り組ませる。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○ 算数科における基礎的学力向上に向けた取り組みを行う。 指標 ・ 年度当初に基礎的計算力を測定し、それをもとに学期に1回計算チャレンジ月間を設ける。	
取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○ 図画工作科を中心に児童の表現力を育成するために、教員の指導力向上を図る。 指標 ・ 図画工作科を研究教科に据え、研究授業を年間6回行う。 ・ 外部講師を招聘し、図工科関する研修会を開催する。	
取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○ 児童が体を動かすことが好きになるような機会を設定する。 指標 ・ 学期に1回、異学年でのスポーツ交流会を実施する。	
取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○ 毎日朝食をとる習慣を身につけさせるように指導する。 指標 ・ 朝ごはんチャレンジ週間を年に2回実施する。 ・ 朝食に関わる保健指導を年に1回実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立長吉出戸小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕 ○ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を74%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ○ 校内において学習者用端末を活用するための取り組みを行う。 ----- 指標 ・ 校時表に、スクールライフノートを活用する時間を設定する。	
取組内容②【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ○ 家庭において学習者用端末を活用するための取り組みを行う。 ----- 指標 ・ 学習者用端末を使用する家庭学習の課題を年2回出す。	
取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○ 低中高学年単位で学習活動や学校行事等での連携を積極的に進め、学年・学級業務の効率化と個々の教員の負担軽減を図る。 ----- 指標 ・ 学習指導や学校行事で、低中高での2学年連携を年3回実施する。	
取組内容④【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○ 教育課程の見直しにより適正に授業時数の調整を行うことで、学習活動の効率化を図り、児童及び教員の負担軽減を図る。 ----- 指標 ・ 週授業時間数を、1年生で24単位時間、2年生で25単位時間、3年生から6年生で27単位時間（委員会、クラブを除く）とする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点